# 令和８年度　伏見区地域保健推進協議会　摘録

１　日時　令和８年９月２４日（木）午後２時から午後３時１０分

２　場所　醍醐支所３階 第１、２会議室

３　出席者

（１）委員　８名

西村委員、藤枝委員、髙野委員、内海委員、美濃委員、桝井委員、浦野委員、田谷委員

（２）京都市

伏見区役所保健福祉センター

梅井センター長、小林健康長寿推進課長、間瀬健康長寿推進課担当課長

深草支所保健福祉センター

田中センター長、髙宮健康長寿推進課長、鬼野健康長寿推進課担当課長

醍醐支所保健福祉センター

平松センター長、小野健康長寿推進課長、堤健康長寿推進課担当課長、谷口障害保健福祉課長、中芝子どもはぐくみ課長

保健福祉局

松村健康長寿のまち・京都推進室担当部長

芝野医療衛生推進室医療衛生企画課担当係長

（３）事務局

３人

４　内容

（１）議題

ア　部会長及び副部会長の選出について

イ　令和７年度事業実績報告

ウ　伏見区の健康課題と事業取組について

（２）質疑応答

（５歳児健康診査の開始について）

委　員：５歳児健康診査について、発達状況に合わせた支援を行うとあるが、この支援は何歳まで継続してもらえるのか。

事務局：子どもはぐくみ室では就学後も関係機関と連携し、１８歳まで支援を行うことが可能である。

（児童通所支援、短期入所及び日中一時支援に係る窓口変更について）

委　員：これまでは、希望があっても発達の検査に至るまでに時間を要していたと聞く。相談窓口が各区役所・支所の保健福祉センターに変更になることで、相談までの流れがスムーズになるということか。

事務局：本市としてもその点については課題として認識しており、現在、解消に向けて具体的に検討を進めているところである。

（思春期教育について）

委　員：思春期教室では、性行為そのものについても教えているのか。

事務局：思春期教室については、学校からの要請に基づいて内容を決定するため、性行為そのものについて言及するような内容にはなっていない。性感染症の怖さを知ってもらい、命の大切さについて考えてもらうような内容となっている。

委　員：性感染症の怖さを知ってもらうには、性行為そのものについての言及が必要だと思うが、学校からの要請ということであればなかなか難しいのだろう。

　現状、子宮頸がんワクチンの接種率が低いため、医師会としてもワクチンの普及啓発に力を入れているところである。接種率の向上のため、思春期教室でも、ワクチン接種の必要性について啓発してもらえると有難い。

（３）情報交換

ア　伏見医師会

「伏見救急カード」の紹介、市民公開講座「笑顔で始める健康ライフ！」（令和８年１０月２４日（土）開催）の案内

イ　伏見薬剤師会

「お薬フェスタ in 醍醐」（令和８年１１月８日（日）開催）の案内

ウ　京都府看護協会

「看護協会の活動・取組」について紹介

エ　伏見保健福祉センター

「伏見ふれあいプラザ２０２６」案内

オ　深草保健福祉センター

「深草ふれあいプラザ２０２６」案内

カ　醍醐保健福祉センター

「歯っぴースマイル大作戦」案内